

第23期（2023年度）事業報告

新型コロナウイルスが5類となり、多くのイベントが再開する一方、オンラインの普及に伴い、コロナ前までの再開とはならず、状況を見極める1年間の活動となりました。

4月22日に兵庫県洲本市（淡路島）に「Support Square ともす」を設け、5月に事務所を難波から堺へ移転し、新たな形でのスタートでした。

常設店舗2店舗に販売イベント・エコカレンダー・障がい者グループホーム関連セミナーの需要もあり、前年に引き続き黒字決算となりました。ただ、収入には大きな偏りがあるため、全体的な底上げと柱になる事業の構築は急務であると考えています。

今後もトゥギャザーの設立趣旨である障がい者の自立支援活動を遂行し、経営の効率化を図り、活動を持続・維持していけるように努めていきます。

【販売支援】

梅田スカイビルの滝見小路の常設店舗「パティスリーとっと」は、コロナ5類になったことで観光客が戻り、特に12月のクリスマス時期には多くの観光客で賑わいました。

新店長と非常勤スタッフの2名での運営となり、新商品の取扱いやお弁当販売の定着など今まで以上に多くの人に立ち寄ってもらえるお店として運営できたと考えています。

コモード56商店街の「Support Square ともす」は、地域活性への活動も望まれる中、地元の高校生との取り組みを初め、毎月イベントを開催しました。2月には、能登半島地震チャリティーイベントを開催し各メディアや市の広報などでも紹介されました。

1年目の目標としていた、認知度の向上は想定以上に達成できたと考えています。



オンラインショップをリニューアルしました。

予てより使用していたオンラインショップサービスの利用価格が高騰したこと、決済方法が限られていたこともありより多くの人に買ってもらうやすい環境を整えるために新しいサービスを利用して、2月にOPENしました。



近畿労働金庫の各支店向けに被災地復興支援カタログ販売を実施（7月・1月）

積水ハウスを中心に被災地復興支援カタログ販売を実施（3月～5月）

大同生命保険より全国障害者スポーツ大会の景品を受注（10月）

エコカレンダーの製造販売事業では、積水ハウスグループを中心に販売数を増やすことができました。

【助成金事業】

2023年度は、積水ハウスマッチングプログラムより、団体助成をいただき、新店舗で使用するPCの購入などに使用しました。

【グループホームの建設サポート活動】

障がい者グループホームセミナーを、埼玉県で開催

主催：トゥギャザー 協力：積水ハウス

後援：川越市・社会福祉法人川越市社会福祉協議会

「第7回チャレンジドふれあいフェスティバル」

障がい者グループホームセミナー

障がい者による歌やダンスのステージイベント

障がい者の手作り商品展示販売会

障がい者アート展示

と内容盛りだくさんで開催。

たくさんの参加者で賑わうことができました。



【おおさか福祉ショップネットワーク】

大阪府下にある福祉ショップ及び授産活動を支援する団体に呼びかけ

ショッピングモールでの販売会の開催や

それぞれの団体が開催する研修会への参加の誘致など、障がい者のモノづくりの支援をネットワーク構築の上、取り組みを進めました。